

大学併修自然環境総合科 教育ポリシー

アドミッション・ポリシー

《学校》

- ①食・農・緑のプロフェッショナルを目指す意欲のある人
- ②選んだ道に自信を持って前に進む強い意志のある人
- ③他者や地域社会との交流に積極的な人

《学科》

- ①自然環境について専門的知識を習得している人
- ②広い知識と視野から思考できる人
- ③環境保全の様々な場面で活躍できる人
- ④新しい技術を取り入れ問題を解決していける人

カリキュラム・ポリシー

4年間の土台を築く

1
年
前
期

達成目標

- ①元素の周期表を習得し、化学実験ができるようになる
- ②実験器具の操作、薬品の取り扱いができるようになる
- ③基礎的な植物の育成、管理、植栽ができるようになる
- ④生態系のしくみが説明できるようになる
- ⑤基本的な英語を聞き取りできるようになる

主な履修科目

履修内容

基礎化学
化学実験
基礎園芸実習
昆虫・動物学実習
英語

元素の周期表を習得し、中和の化学反応式といった化学実験でも触れる内容を掘り下げる
器具の操作、薬品（試薬）の扱い方などを学ぶ
緑化植物の植栽や育成・管理、また工作物の制作を通して園芸技術の基礎を体得する
生態系の一員としての昆虫・動物の役割、造園管理の際の虫害・鳥害について学ぶ
英語の聞き取りに重点を置き、日常会話レベルの習得を目指す

知識と基礎を身に付ける

1
年
後
期

達成目標

- ①生物の細胞がどのような働きをしているか説明できる
- ②植物の病気について判断できる
- ③環境問題の現状と取り組みを説明できる
- ④製図道具を使い、庭園設計図が書ける
- ⑤パソコンの基礎的操作ができるようになる

主な履修科目

履修内容

生物学
植物病理学
環境保全論
環境デザイン実習
OA実習

人間の身体を構成する物質と生物の細胞がどのようなはたらきをしているのかを学ぶ
植物の病気の診断の基礎知識を習得する
環境問題に対する国際的な動向、取り組みを学び、どう対応していけばよいのかを考える
ガーデンデザインするための平面図、立面図、1点透視図が描ける
実務でのパソコン操作に役立つ知識、及びアプリケーション操作を身につける

調査と視察から多くの事例を知る

2

年

前

期

達成目標

- ①微生物取り扱いの基礎を体得し、生理試験、観察ができるようになる
- ②環境汚染物質や自然生物分析ができるようになる
- ③公害や地球環境問題の解明について説明できるようになる
- ④土壌の果たす生産機能や環境保全機能を説明できるようになる
- ⑤樹木医学に関する基礎事項が説明できるようになる

主な履修科目

履修内容

微生物実験
環境科学実験
環境社会学
土壌肥科学
樹木医学 I

微生物を分離して、保存、各種生理試験、観察といった微生物取扱いの基礎を体得する
環境汚染物質や自然生物の分析方法に重点を置き、分析技術の技術を上げる
公害問題から地球環境問題まで、環境問題の解明につながる知識を習得する
土壌の化学的・物理的性質の理解を基礎に、土壌の果たす生産機能や環境保全機能を学ぶ
樹木医学に関する基礎事項を学び、将来樹木医として活動できる素地を作る

課題に取り組むための幅広い視野を持つ

2

年

後

期

達成目標

- ①微生物の多様性を理解し、微生物の取り扱いができるようになる
- ②ビオトープ管理士の資格に挑戦することができるようになる
- ③植物の伝染性病害を理解し、防除することができるようになる
- ④生物分類技能検定 3 級に挑戦することができるようになる

主な履修科目

履修内容

微生物学
ビオトープ概論
植物病理学実習
資格公務員対策 I

微生物の多様性を知ることで、微生物取り扱いのスキルを補助する
身近な問題をテーマに環境知識を習得し、ビオトープ施工管理の資格取得も目指す
植物の生育を阻害する伝染性病害を取り上げて防除の基本となる診断方法を習得する
生物分類技能検定 3 級試験対策

2年修了時の達成目標

- ①自然科学分野の幅広い知識と技術を身に付け活用することができるようになる
- ②問題を抽出し、解決のために必要な手順を計画し遂行することができるようになる
- ③様々な化学分析技術を使いこなすことができるようになる
- ④他者と協力して課題解決へ取り組むことができるようになる
- ⑤園芸の高度な技術を身に付けが栽培管理ができるようになる
- ⑥環境問題についての課題と対策について理解できるようになる
- ⑦植物の特徴を見分け、分類することができるようになる
- ⑧植物に表れる病害虫の症状を見分け防除することができるようになる

大学授業と探求テーマを見つける

3
年

達成目標

- ①身近な環境の植物、動物を調査することができるようになる
- ②ガーデニングのデザイン、施工から維持管理までできるようになる
- ③植物の生育阻害要因や病害虫について説明できるようになる
- ④生物分類技能検定2級（植物）試験に挑戦できるようになる
- ⑤探求テーマを見つけ、4年次に卒業研究ができるようになる

主な履修科目

生態系調査実習
ガーデニング実習
植物育成管理学実習
資格公務員対策Ⅱ

履修内容

様々な身近な環境の植物、動物を調査し、各環境の生態系を把握する
植栽デザイン、段取り、施工、その後の維持管理までを実践的に学ぶ
観葉植物や花卉、樹木について中心的に行い病害虫や生育阻害要因について学習する
生物分類技能検定2級（植物）試験対策

卒業にむけた研究に取り組む

4
年

達成目標

- ①業界について研究し商品開発ができるようになる
- ②調査・研究をまとめ卒業研究発表ができるようになる
- ③公害問題、社会問題を科学技術の視点から説明できるようになる
- ④樹木と病原体、昆虫、ほ乳類との相互作用を説明できるようになる
- ⑤2級造園施工管理技術検定に挑戦することができるようになる

主な履修科目

ゼミナール
卒業研究
科学技術社会論
樹木医学Ⅱ
施工管理学

履修内容

商品開発を検討し6次産業について学ぶことを通して業界について研究する
テーマごとの調査、研究結果を身に付けたスキルで卒業研究発表をする
様々な公害問題や医学系の社会問題などを科学技術の視点から解説
樹木と病原体、昆虫、哺乳類や鳥類の相互作用の側面から学習していく
造園施工にあたり技術的な知識を座学で身に付けていく

ディプロマ・ポリシー

- ①幅広い視点と高い専門性知識から環境についての様々な問題の解決への取り組みができること
- ②高度なコミュニケーションスキルを身に付け、環境についての専門知識を広く普及ができること
- ③多様な調査や実験を研究発表にまとめた実体験から、最後まで課題解決の遂行ができること
- ④広い分野を学び接点を持つことで、異業種間ネットワークの構築ができること
- ⑤社会人に必要な教養やマナーを備え、倫理観と責任感をもって実践的に社会への貢献ができること
- ⑥身に付けた語学力と新技術を応用し、国際的に活躍ができること
- ⑦世界情勢や経済の情報が常に収集し、柔軟な思考力により問題解決への応用ができること